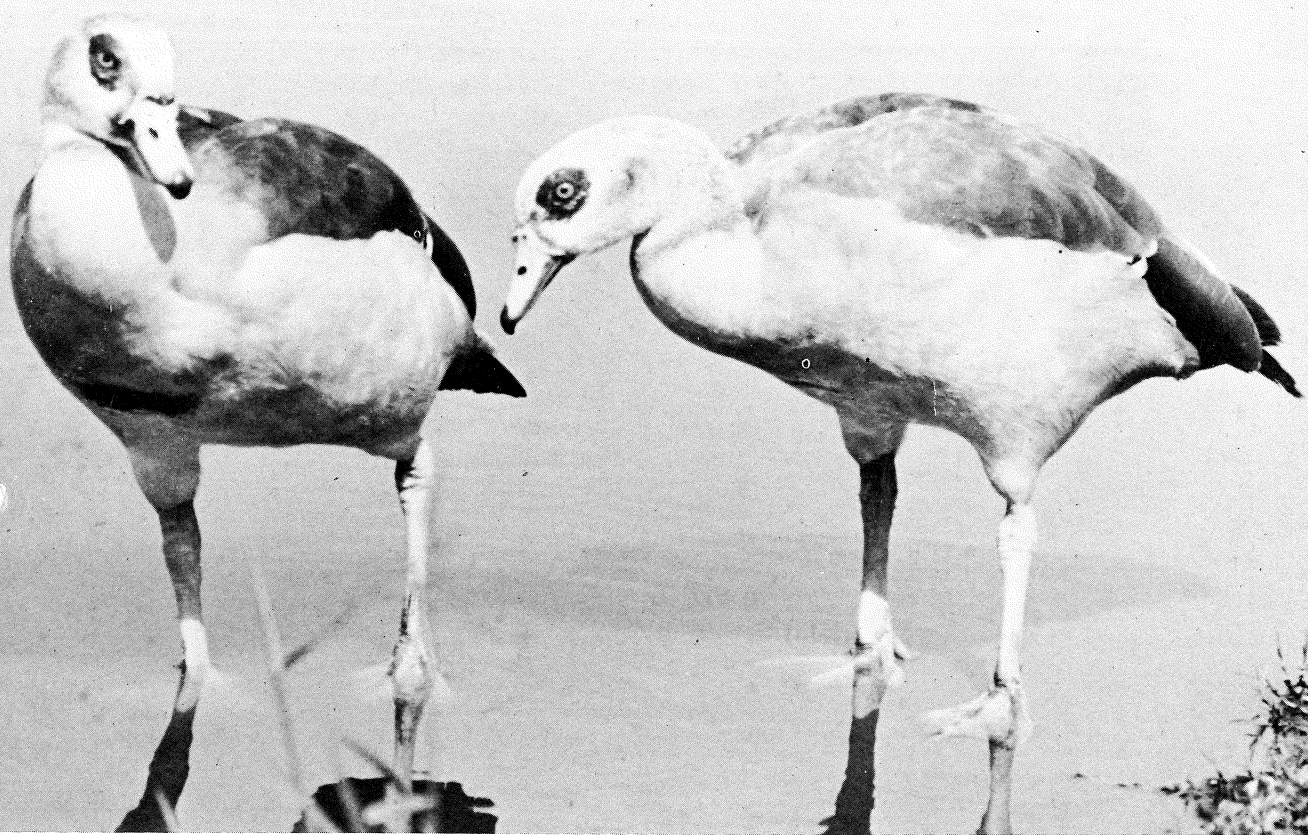


わが公園

No.18

1980年5月

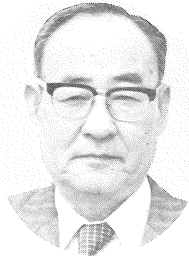


財団法人
鹿児島市動物公園協会

さよなら カン子ちゃん

～20年間 子供たちのアイドル～

春の動物公園に思う



鹿児島市動物公園協会 常務理事
三ツ石 和 友

遅咲きの八重桜の並木道の坂を登りつめると、広い駐車場がひらけた動物公園に着く。

入口のゲートを通して20数歩進むと、正面に広々とした園のシンボルであるアフリカ園の眺望が入園者の目を奪う。そして異口同音に「オー」という嘆声が発せられる。

そこでは、錦江湾の紺碧の海を隔てて中天高くそびえる桜島を遠景に、わか草がもえ出た草原にキリンやダチョウやシマウマやフラミンゴたちが群れをつくって、遊んだり草を食べたりしている伸び伸びとした楽しい風景が見受けられる。まさに一幅の絵である。

私達、園を職場として毎日仕事をしている者でも、四季それぞれに魅せられるアフリカ園の景観は、とにかく素晴らしいの一語に尽きる。

私が動物公園協会です仕事をするようになって半年になる。入ったのが開園7周年記念日(10月14日)の4日前であったことを記憶している。

30年間、市役所で行政一筋に務めた者にとって、サービス業と物品販売業の両面をもつ協会の仕事は、確かに不協和音があり、戸惑いを感じ、それなりに失敗と反省のくり返しであった。

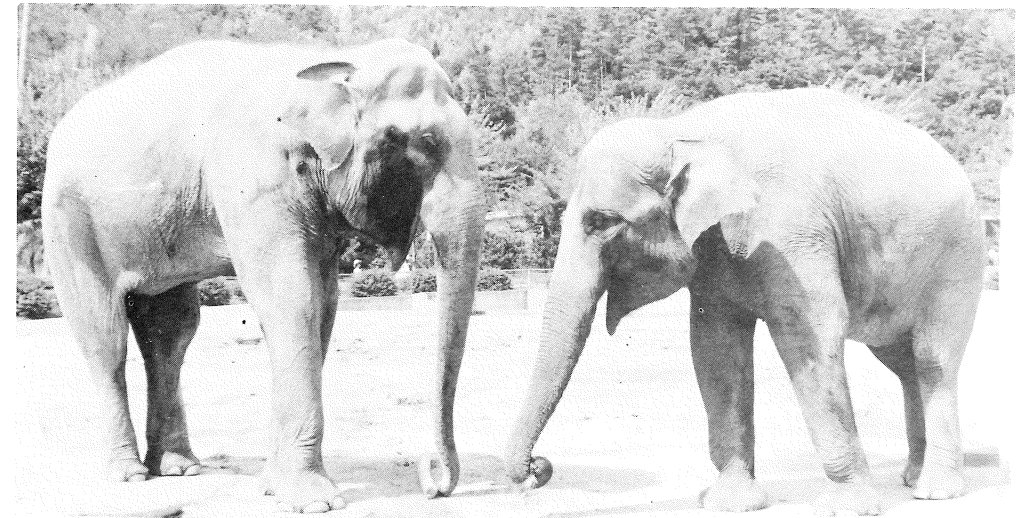
近頃では仕事もひととおりマスターし、48名いる職員の名前や顔も覚え込んで冗談口を叩き合うまでになったが、慣れるにつれて時々ふと胸をかすめるひとつの疑問がある。それは「動物園とは一体何であり、協会はどうあるべきか……」ということである。

動物園は動物を飼育して一般に観覧させる社会教育の施設であることは、公式論として万人の認めるところであるが、観点をやってみると鹿児島市の顔であるという側面をもっている。

遠い祖先から受け継がれて私達に至るまで鹿児島を愛する住民がいる限り、今後とも市政は永遠に続き発展するものであり、市政が続く限りその顔である動物園は存在しなければならず、従って協会も園と共に永遠に発展してゆくものと信じる。

このように原点に帰って思索を進める時、協会に職を奉ずる私共がもっとも協会を愛し、かつその発展を念願する気持がもっとも強くなければならないことは当然である。

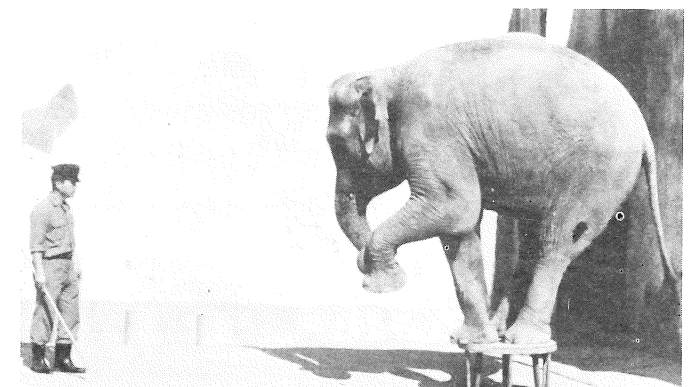
遠路をいとわず動物公園まで来て下さった入園者を大切に、楽しい思い出と共に帰路に着かれるよう、職員と一致協力して物心両面においてサービスして参りたいと心掛けています。



元気なころのカン子(右)とドム



昭和40年1月8日付の新聞



碁盤乗りをするカン子(昭41年ごろ)

インドゾウのカン子(22才)が昭和55年2月14日朝胃腸病のため急死しました。カン子は昭和35年ドムの先妻タイ子が結核で死んだあと、カンボジアから鴨池動物園にやって来て以来20年間、子供たちの人気者として親しまれてきました。性質は神経質で気の荒いところもありましたが、芸達者でくい渡り、碁盤乗り、たるころがし、ハーモニカ吹きなど多くの芸をおぼえ、観客をよろこばせました。

二世たん生が期待されていただけに大変残念でしたが、ひとりぼっちになったドム君に新しいお嫁さんが早く見つかってほしいものです。

◀表紙

エジプトがん(Egyptian goose)

がんかも目がんかも科

アフリカ原産の水鳥であるが、現在では世界各地で飼育され半家禽となっている。背は帯灰赤かっ色、腹は白く、胸の中央にかっ色の大斑点があり雌雄同色である。くちばしと脚は淡紅色ないし血赤色。しわがれた大声を出し、気は荒く闘争性が強い。

▼行事

- 5月3日～5日 こどもまつり
プレゼントショー マジックショーなど
- 5月9日～10日
日動水協西日本ブロック園館長会議
- 5月12日～31日
愛鳥週間入賞作品展示(築箱・標語・ポスター)
- 5月11日～6月1日
計量記念日(6月7日)象体重あて懸賞

※ 飼育動物数(昭和55.3現在)

ほ乳類	77種	351点
鳥類	77種	661点
は虫類	3種	11点
計	157種	1023点

ヨーロッパの動物園みてあるき(その2)

獣医師 酒匂 猛

動物園の目的のひとつに社会教育があげられますが、ヨーロッパの動物園では教育普及活動に専門の職員がいて大変力をいれていました。

特に青少年の教育については、どこの動物園でも、小、中学校と密に連携をとっており、また、一般の青少年を対象にはクラブ組織を通じて教育効果を高めていました。

ロンドン動物園で見た光景ですが、学校から団体で来た子供たちは皆、あらかじめ手渡された質問用紙を持ち、それぞれ観察したことを記入しており、引率の先生も熱心に指導していました。

それから、アントワープの動物園では博物館が併設されており、ここには動物の骨格標本や、昆虫の標本、動物に関する美術品などのほか、顕微鏡の初期のころから現代のものまでが集められており、顕微鏡の発達過程がよくわかるようになっていました。

次に、教育活動のひとつとしている子供動物園の役割が重視されつつありますが、今回訪れたヨーロッパの動物園でもほとんどのところが子供動物園を設置していました。

子供動物園に収集されている動物はウサギ、ヤギ、ウシ、ブタ、ウマなど、家畜が中心で野生動物では、アライグマ、ビーバー、カメなど子供に親しみのあるものが展示されていました。

アムステルダム動物園、バーゼル動物園、ロンドン動物園では特に動物はよく馴致じんちされており、子供は動物をこわがらず、動物は子供をおそれず、子供と動物が仲良く触れあっているのがうらやましく思われました。

日本では動物と仲良くするためにすぐに餌を与えたりしますが、ヨーロッパでは餌を与えようとする子供はほとんど見かけませんでした。彼らは動物のからだをやさしく手でなでただけで動物と仲良くなっているようでした。

また、ロンドンの子供動物園では乳牛から機械で乳をしぼっているところを実演してみせていました。バーゼルの子供動物園ではクラブの会員になった子供たちが動物舎のそうじや動物の世話をしたり、上級生が小さな子供に乗馬の訓練をしているのが見られました。

動物のショーは動物を虐待するというで年々廃止される傾向にありますが、今回訪れたところでは、アシカ(バーゼル)、イルカ(アントワープ、ホイップスネード)、ゾウ(西ベルリン、バーゼル)などのショーを見る機会を得ました。

動物の持っている習性や能力をうまく引き出してショーとして見せており、動物もショーを楽しんでやっているようでした。

ただ、バーゼル動物園では、お客を象に乗せて園内を歩かせておられますので、そのための訓練はきびしく、子象が親象と一緒に命令どおり歩いたり、人を乗せて歩く訓練などの様子をショーとして見せていました。

その他、ヨーロッパの動物園で気付いたことは、動物を説明するラベルの文字が小さくて近寄らないと読めないほどでした。しかし、説明の内容は詳しく書いてありました。

また、ほとんどの動物園では餌を与える時刻を案内してあって、動物が餌を食べる様子が観察できるようにしてありました。

それから、どの園でも騒音には気を使っておりました。園内を走る運搬車などはほとんど電気自動車を使用しており、また、園内放送もロンドン動物園とアントワープ動物園以外はなく、とても静かでした。入園料は東ベルリンを除いては、受益者負担の原則が貫かれており、大人で600円から900円が普通のものでした。

最後に、動物園の4つの目的である社会教育、レクリエーション、自然保護、研究といったものがバランスよく運営されているように感じましたが、とくに教育についてはどの動物園も力を入れているように思いました。

ヨーロッパの動物園の比較

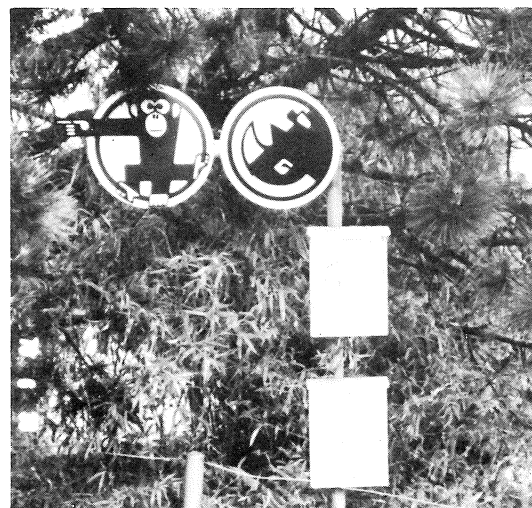
動物園名	面積 (ヘクタール)	哺乳類 (種・点数)	鳥類 (種・点数)	両生、は虫類 (種・点数)	合計 (魚類等除く)	入園料	入園者数 (年間)
アムステルダム (オランダ)	10	146-805	338-1372	195-343	679-2520	大人 7ギルダー(約812円) 子供 3.5 ヶ (約406円)	約 100万人
東ベルリン	130					大人 1 マルク(約120円) 子供 0.5 ヶ (約60円)	約 250万人
西ベルリン	30	260-1177	711-2834	402-1189	1373-5200	大人 4.5DM (約576円) 子供 2.0 ヶ (約256円)	約 260万人
バーゼル (スイス)	13	77-536	189-801	68-315	334-1652	大人 6 フラン(約820円) 子供 2.5 ヶ (約345円)	約 80万人
チューリッヒ (スイス)	10	61-356	80-465	76-388	217-1209	大人 5 フラン(約690円) 子供 1.65 ヶ (約227円)	約 56万人
ロンドン	14.5	167-990	401-1144	173-649	741-2783		約 160万人
ホイップスネード (イギリス)	230	72-1112	125-974	2-6	199-2092	大人 160ペンス(約850円) 子供 75 ヶ (約400円)	約 50万人
平川	30	77-351	77-661	3-11	157-1023	大人 200円 子供 50円	約 55万人



① 字の読めない子供でもわかる標示板
(西ベルリン動物園)



④ 熱心に観察記録する未来の自然科学者
(ホイップスネード動物園)



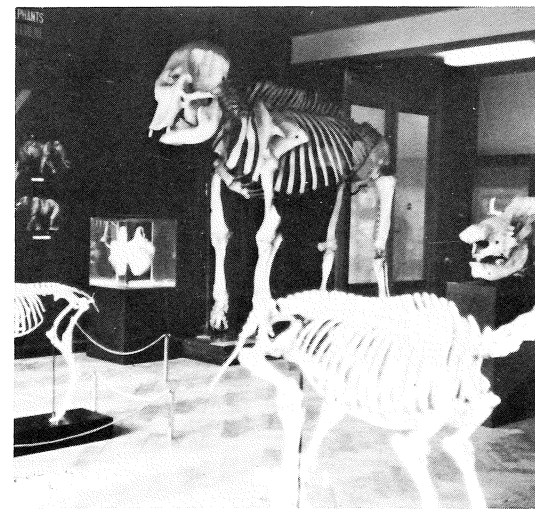
② シンボルマークのモンキー君による案内
(チューリッヒ動物園)



⑤ 生き餌のマウスを飲み込むニシキヘビ
(ロンドン動物園)



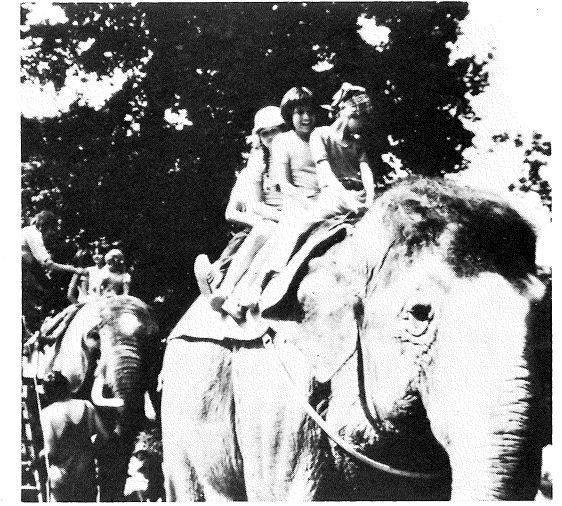
③ 動物のラベル、キリンとオカピの比較
(パーゼル動物園)



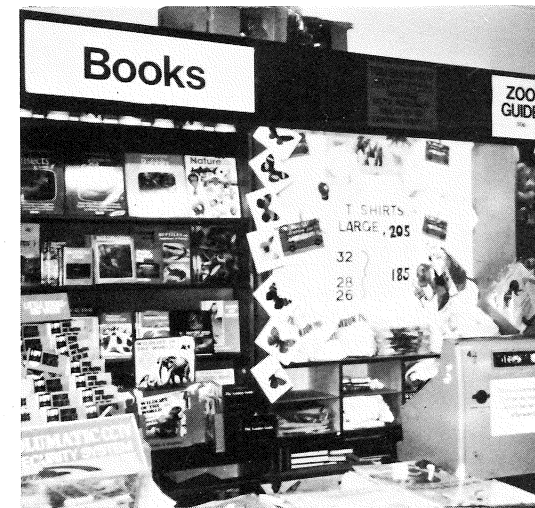
⑥ 骨格標本などを展示した博物館
(アントワープ動物園)



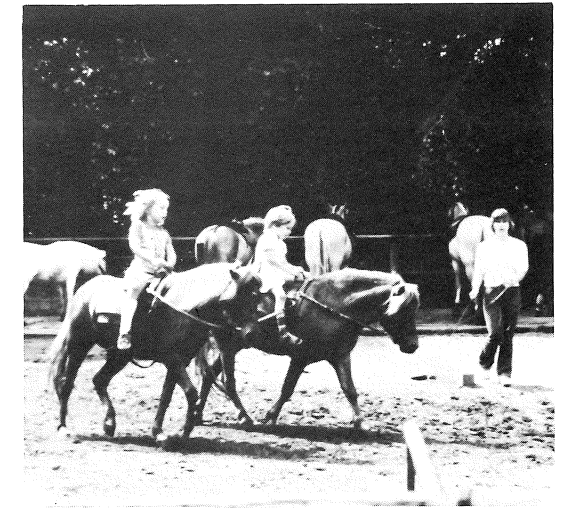
⑦ 象の頭骨の展示説明
(チューリッヒ動物園)



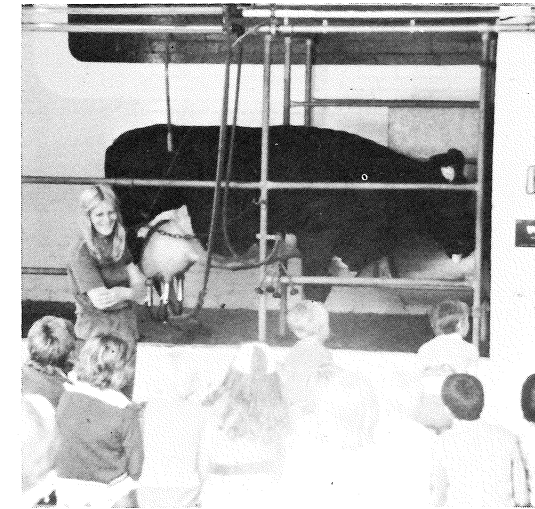
⑩ 象に乗って園内散歩の子供たち
(パーゼル動物園)



⑧ 自然関係の本も豊富な園内の売店
(ロンドン動物園)



⑪ 乗馬の練習
(西ベルリン動物園)



⑨ ミルカーを使っでの乳しぼりの実演
(ロンドン子供動物園)



⑫ やぎさんもお友だち
(アムステルダム子供動物園)

平川動物公園の長寿動物



①にほんつきのわぐま (昭22年3月来園)



⑤しろててながざる (昭37年11月来園)



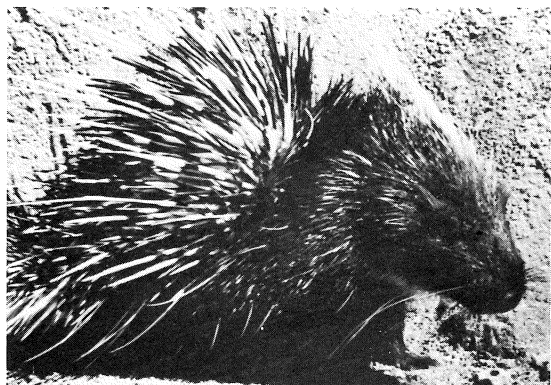
②インドぞう (昭26年7月来園)



⑥オランウータン (昭39年2月来園)



③インドおおづる (昭27年7月来園)



⑦やまあらし (昭39年4月来園)

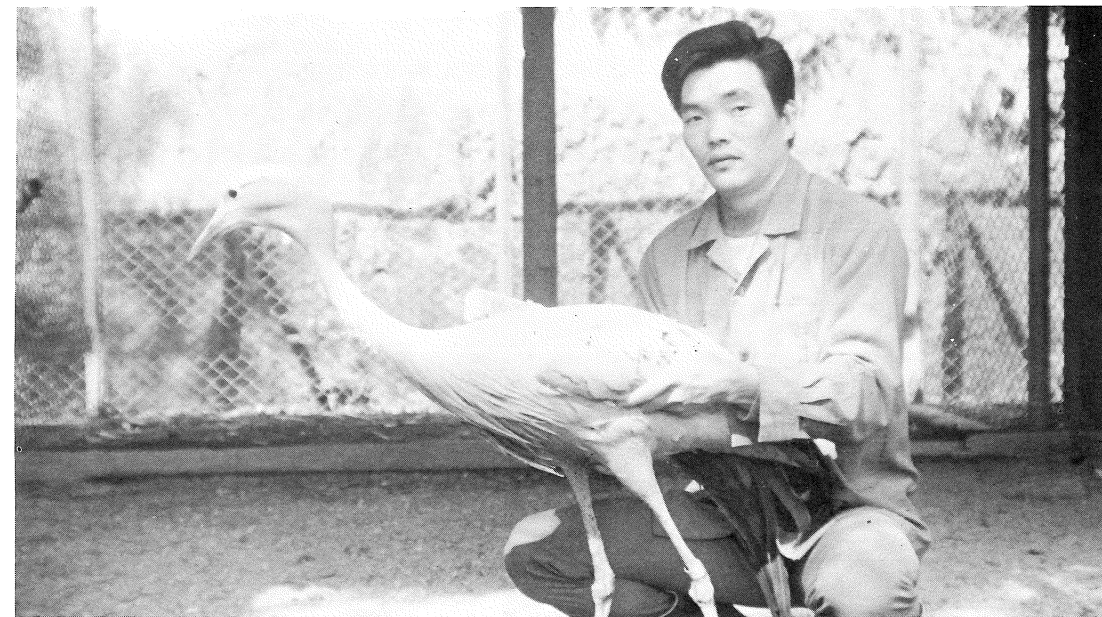


④ヒマラヤぐま (昭30年11月来園)



⑧しまふくろう (昭39年4月来園)

ハイ！担当は私です



▲はごろもづる

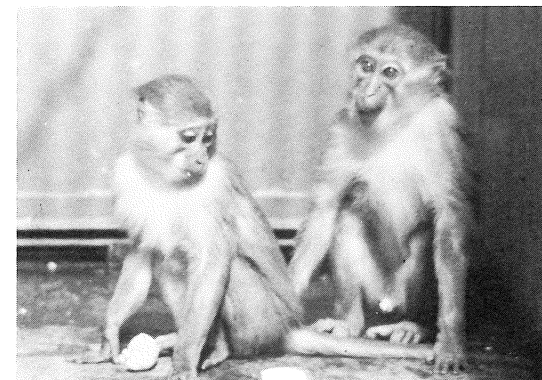
平川動物公園では、現在世界中に生息しているツル15種類のうち9種類を飼育しています。そのうちソデグロツルは、現在アメリカの国際ツル財団に繁殖のため預けてあります。私の担当は、このハゴロモツルをはじめツル類全部とチリーフラミンゴ、クジャクなどです。

これからも当公園では、ツルの飼育種類をふやし15種類全部のコレクションを目標にしています。また、鹿児島県の出水地方は毎年4000羽以上のツルが渡来する地として世界中に有名ですし、これからも十分な保護策がとられる必要があると思います。

今、ナベツルの繁殖と、ソデグロツルがヒナとともにアメリカから帰ってくるのを期待しているところです。

飼育係 末満 修 技師

***** 新着動物 *****



▲ゴールデンマンガベイ (昭55・3着園)

アフリカ南西岸の川の近くの湿地帯の森林に生息、全身みごとな黄かっ色から黄金色の毛をもつ美しいサルである。



▲シシオザル (昭55・3着園)

インド南西部のかなり高地の森林地帯に住む、20頭ぐらいの群れで広い地域を移動し、性質は荒々しい。

動物公園の顔



◀ ラマ (Llama)

偶蹄目 ラクダ科

南アメリカの高山地帯が生息地で、現在は家畜化されて、荷物の運搬などに使われている。毛は織物やロープに使われる。怒ると胃の内容物を吹きかける。かっ色、黒色、白色、ぶちなど体色はいろいろである。当公園のラマは、昭和51年3月、ペルー国立動物園から動物親善使節として贈られたものである。

＝ ほ乳類の妊娠日数と鳥類のふ化日数 ＝

インドゾウ	630	ニホンジカ	225	エミウ	52
クロサイ	540	ニホンザル	165	ダチョウ	42
キリン	450	パンダ	148	フンボルトペンギン	42
アメリカバク	395	ブタ	115	マナヅル	30
グラントシマウマ	370	ライオン	109	アヒル	29
アシカ	343	アライグマ	66	シチメンチョウ	28
シロナガスクジラ	305	ネコ	65	ニホンキジ	24
ウシ	280	イヌ	63	ニワトリ	21
オランウータン	270	アカカンガルー	35	ウズラ	18
ゴリラ	255	コアラ	35	ハト	16
シロクマ	240	カイウサギ	31	カナリア	14
カバ	235	ハツカネズミ	21	スズメ	11



◀ フンボルトペンギンの引越し

熊舎前の池にペリカン、かわう、オタリアなどと一緒にいたフンボルトペンギン10羽が、オタリアのいたずらに耐えかねて、3月末フライングケージ内に引越しました。住み心地がいいのかすぐ卵を産み、現在抱卵中です。なお、かわう3羽も同時にフライングケージへ移りました。

表紙題字

鹿児島市長 山之口安秀

ひらかわ No. 18 昭和55年5月1日発行 第18号
 発行所 鹿児島市動物公園協会
 〒 891-01 鹿児島市平川町5669-1 ☎0992(61)2326~8
 発行者 山之口安秀
 編集者 米山昇